

2023年度 第2回 日産京都自動車大学校教育課程編成委員会「車体」会議報告書

1. 開催日時 2023年2月24日(金) 14:00-16:00

2. 開催場所 日産京都自動車大学校

3. 出席者

(学校外委員) 団体代表 清水 正美 様 京都府自動車車体整備協同組合 副理事長(ボディリペア科、カスタマイズ科兼任)
 企業代表 高橋 治彦 様 日産自動車株式会社 グローバルアフターセールス事業本部 (自動車整備・ボディリペア科担当)
 企業代表 中村 達也 様 京都サービス株式会社 吉祥院工場 工場長 (自動車整備・カスタマイズ科担当)

(学校内委員) 学校長 川嶋 則生
 教頭 鳥井 英雄
 課長 武内 健二 教育部 自動車整備科
 課長 大村 哲嗣 教育部 一級課・車体課
 統括 山瀬 匡隆 教育部 車体課
 課長代理 当麻 範嗣 教務課

(オブザーバー) 学長 本廣 好枝 日産・自動車大学校 (オンライン参加)
 部長 中村 光之 日産・自動車大学校 教育企画部 (オンライン参加)

4. 議題

- 1) 挨拶
- 2) 各科今年度の活動計画報告(重点課題)
- 3) 各科2023年度の重点課題について
- 4) 意見交換

5. 議論

- 1) 結論 今回の教育課程編成委員会にて、議題について委員からご意見をいただくことができた。
 いただいたご意見をよく検討し、次年度の授業内容、教育方法などに織り込みながら教育の質の向上を図っていく。
- 2) 意見交換と質疑応答

| 種別 | 項目 | 所属 | 質問者 | 主な意見 |
|----|----------------|--------|-----|--|
| 2) | ICTの取組 | 日産自動車 | 高橋様 | ・PC、Wi-Fiなどのトラブルが発生し、授業の進捗に遅れが発生することはあるのか？ |
| | | 学内 | | ・紙課題等でバックアップしているが、都度、FBIに対して取り組んでいるが、完全になくすことは難しい。また、Google側で配信が、ストップされたことがあった。 ・補足として、インフラの整備は終了しており、Wi-Fiなどのバックアップは、大丈夫である。また、PC数が5校で揃う為、価格交渉及び保証も充実している。 |
| 2) | 車体課日産資格 | 日産自動車 | 高橋様 | ・トヨタ系に就職する学生は、入学時から決めているのか？ ・資格問題をテキストベースで作成しているが、それで良いか？ |
| | | 学内 | | ・入学時かどうかは不明だが、BR3年に進級する際、既に内定していた。 ・資格試験問題は、テキストベースで全く問題ない。実習も3級ベースで実施して行く(いる)。 |
| 2) | 電気制御装置等整備主任者講習 | 車体協同組合 | 清水様 | ・認証工場を取っているのは、当たり前になっている。そうしなければ、不随作業(エーミング等)ができない為、仕事として入庫しなくなる。 ・必要最低限の内容で認証を取るようになっている。 ・この取り組みについては、感謝します。 |
| | | 京都サービス | 中村様 | ・京都日産でもTS2級、国家2級所持者に車体協会で開催を予定している。 |
| | | 学内 | | ・質問として、この講習は必要か？ ・1級工学科と同様の実習を行っている。 |
| 3) | 自動車課 | 日産自動車 | 高橋様 | ・留学生は居るか？日本の文化、授業に付いていくのは、難しくなるのではないか？ |
| | | 京都サービス | 中村様 | ・実習を4クラスから3クラスにするには、一クラス当たりの人数が多くなり、実習の習熟上良くなるのでは？ |
| | | 学内 | | ・約45人/クラスになり、問題ない。 ・留学生対応として、2024年度から単独クラスとして運営する国際オートメカニク科を立ち上げる。 |
| 3) | ボディリペア科 | 日産自動車 | 高橋様 | ・新入社員に手取り取り教えることは、難しい。パテ、サフの下地処理などを仕上げられるように教育して、卒業させて欲しい。 ・車体と塗装の兼務者が出て来ている。 ・3級所持者に見合った実力を身に付けて卒業させて欲しい。 ・教材としてでなく、お客様の車として、経験を積ませるのも必要である。 |
| | | 京都サービス | 中村様 | ・資格と実技を伴って卒業させて欲しい。 |
| | | 学内 | | ・承知致しました。 |
| 3) | カスタマイズ科 | 車体協同組合 | 清水様 | ・川嶋校長の考え方が、大切である。自由な車づくり、やりたい物を作り上げることが大切である。 ・成長を感じることができれば、成功である。 |
| | | 日産自動車 | 高橋様 | ・来年、再来年の予想をさせて取り組むのもありでは？ |
| | | 学内 | | ・賞を取ることは結果系であり、突き詰めなければ取れない。賞を取ることをメインにするのではなく、GZのコンセプト、考え方を追求した活動にして、結果として賞を取れば良い。 ・年度の予想をするのは、メーカーならそれで良いが、学生は自分達でコンセプトの検討から取り組ませる。 |

2023年度 第2回 日産京都自動車大学校教育課程編成委員会「整備」会議報告書

1. 開催日時 2023年2月24日(金) 10:00-12:00
2. 開催場所 日産京都自動車大学校
3. 出席者
- (学校外委員) 団体代表 乗地 博之 京都府自動車整備振興会 教育課 課長(一級工学科、自動車整備科兼任)
 企業代表 秋山 浩志 兵庫日産自動車株式会社 執行役員 (一級工学科担当)
 企業代表 平松 由揮 滋賀日産自動車株式会社 栗東店 副店長 (自動車整備科担当)
- (学校内委員) 学校長 川嶋 則生
 教頭 鳥井 英雄
 課長 武内 健二 教育部 自動車整備科
 課長 大村 哲嗣 教育部 一級課・車体課
 課長代理 清水 昭一 教育部 自動車課
 課長代理 遠藤 博之 教育部 一級課
 課長代理 当麻 範嗣 教務課
- (オブザーバー) 学長 本廣 好枝 日産・自動車大学校 (オンライン参加)
 部長 中村 光之 日産・自動車大学校 教育企画部 (オンライン参加)

4. 議題

- 挨拶
- 各科今年度の活動計画報告(重点課題)
- 各科2023年度の重点課題について
- 意見交換

5. 議論

- 結論 今回の教育課程編成委員会にて、議題について全委員からご意見をいただくことができた。いただいたご意見をよく検討し、次年度の授業内容、教育方法などに織り込みながら教育の質の向上を図っていく。
- 意見交換と質疑応答

| 議題区分 | 議題番号 | 項目 | 所属 | 質問者 | 主な意見 |
|------|------|--------------|---------|---|--|
| 2) | — | 国家試験の取組と進捗状況 | 兵庫日産自動車 | 秋山 様 | ・各校で差があるが、何故？ |
| | | | 学内 | ・愛知校が特に低いのは、留学生が多い為である。 ・京都校は、学習スケジュールに則っており、計画を年度ごとに変えないことと好事例を継続し、また、低位者には苦勞するが、必ず合格させると言う考えで取り組んでいる。 | |
| 2) | — | ICTの取組 | 整備振興会 | 乗地 様 | ・ICTは、継続するのか？ |
| | | | 滋賀日産自動車 | 平松 様 | ・整備結果説明等は紙ベースだったが、最近はPCを使って動画を活用しており分かり易いと思う。 |
| | | | 学内 | ・コロナ中では、オンデマンド授業を主に取り組んでいたが、国交省が認めるのであれば、ハイブリッド授業に取り組んでいきたい。 ・ICT授業は、手探り状態で進めて来た。オンデマンド授業が認められれば、ICTとして何が出来るか？など、やるべきことを検討し、推し進めて行くつもりである。 | |
| 2) | — | 国際科の取組 | 整備振興会 | 乗地 様 | ・次年度の留学生の入学者数は？ |
| | | | 兵庫日産自動車 | 秋山 様 | ・留学生の募集は、国を絞っているのか？ ・国際科学生は、来年度は整備科に合流するのか？ ・留学生の新人教育は、日本人と分けなければ、教えられない。 |
| | | | 学内 | ・留学生募集は、国を絞ってはいないが、非漢字圏が多い。 ・日本語力が低い学生が多いし、授業ペースに付いていけない為、進級時のクラス編成の際、留学生の独立クラスを編成し、フォローし易くする計画をしている。 ・今年度の募集状況は、コロナの影響で日本語学校の留学生が少な為、苦戦しているが、2023年度は激増する予想である。優秀な留学生を取り、国際オートメカニク科を受け皿にする。 ・今後、留学生の母国語で会話できる教員を採用し、担当者とすることを検討している。 | |
| 3) | — | 自動車整備科 | 整備振興会 | 乗地 様 | ・最近の傾向として、技術力はあるが、気配りができない社会人が増えている。自主性があり、挨拶を徹底させるべきである。 |
| | | | 兵庫日産自動車 | 秋山 様 | ・時間管理の観点で、あまりない。 ・基本を疎かするなど、頭でっかちで手が伴わない。 ・言われたことは忠実に取り組むが、自分から進んで取り組まないなど指示待ち人間を増えている。 |
| | | | 滋賀日産自動車 | 平松 様 | ・在学中に整理整頓(5S)の考え方を教育して頂ければ有難い。繁忙期には、どうしても雑になり、疎かになる。 ・正確で早く作業する癖(意識)を付けて欲しい。 ・現場では、工程管理システムを導入した為、時間管理がより重要になった。作業が遅れるようなことになれば、他者がフォローすることになり、工程管理が狂うことになる。 |
| | | | 学内 | ・整理整頓に関する項目は、ルーブリック評価には入れているが、カバーする項目を充実させる。 ・ゆくゆくは、実習授業ごとのルーブリック評価表を作成することで、頂いた意見は反映できると思う。 ・日産校は、自主性を養うことを一つの柱としている。挨拶指導は、弱くなっているが、来年度は再度徹底を図る計画をしている。 | |
| 3) | — | 国際科 | 滋賀日産自動車 | 平松 様 | ・国家試験を合格させるには、読み書きができることが重要である。 |
| | | | 学内 | ・読み書きを強化するカリキュラムを検討中だが、そうすることによって会話力の向上にも繋がる。 ・補足として、静岡工科をベンチマークにしており、国家試験は1回目で80%の合格率である。合格後は、免許取得、特別カリキュラムを組むこともできる。3年間通じて3時限設定の為、アルバイトの時間を確保しやすく、生活設計も容易にできる。また、日本人との接点を作り、コミュニケーション力を向上させる取組も検討中です。 | |
| 3) | — | 一級工学科 | 整備振興会 | 乗地 様 | ・学生フォーミュラ活動では、是非、動的審査に進んでください。お願いします。 |
| | | | 兵庫日産自動車 | 秋山 様 | ・「授業に付いて行けない学生が年々増加している」とあるが、どう言うこと？ |
| | | | 滋賀日産自動車 | 平松 様 | ・一級の卒業生は、ある程度任せられる。 ・車両が多機能になって来ている。取扱説明書に記載されている内容が分かっており、正常異常の判断ができる対応力を養って欲しい。 ・例えば、自動ブレーキの説明動画など。 |
| | | | 学内 | ・募集が厳しく、良い学生を入学させることが出来ていない。 ・多機能化の対応は、一級課だけでなく、整備科でも対応する必要がある。 ・日産自動車(GAS)が、発行していると思われる。その資料を入手し、授業に取り入れることを検討する。 ・そもそもシステムが、分かっていなければならないことが大前提である。 | |